

活気とにぎわい創出

地域づくり計画に基づいた事業を進めるため、市は「がんばる地域づくり応援交付金」を交付して活動を支援。各地域では自主性を発揮し、さまざまな取り組みが展開されています。地域資源を生かし、こどもたちの育成や若者を巻き込んで活動している米川地区と石越地区の取り組みを紹介します。



4



1



5



3



2

1 自身も楽しみながら事業に参加し、笑顔があふれる若者井戸端会議のメンバー
2 会議では和やかな雰囲気の中で意見を出し合う
3 4 運営にも携わり、世代間で交流が生まれる
5 企画から参加した昨年のライトアップ



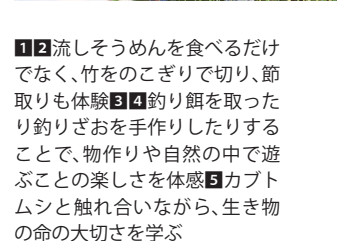
2



4



3

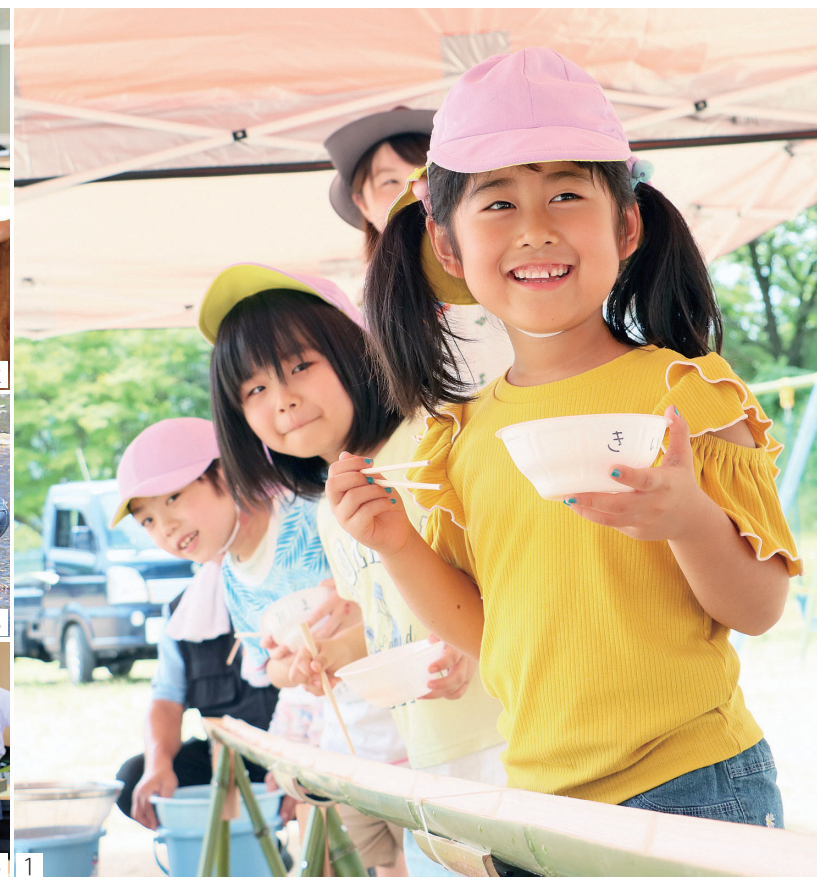


5



1

1 2 流しそうめんを食べるだけでなく、竹をのこぎりで切り、節取りも体験
3 4 釣り餌を取ったり釣りざおを手作りしたりすることで、物作りや自然の中で遊ぶことの楽しさを体感
5 カブトムシと触れ合いながら、生き物の命の大切さを学ぶ



地域の魅力を次代へ伝える

米川地区の魅力は、豊かな自然環境と、ユネスコ無形文化遺産に登録された「米川の水かぶり」などの伝統文化、そして人と人との絆だと思っています。

現在の第3次地域づくり計画では、育ち盛りのこどもも、働き盛りの若者、健康な高齢者が元気で幸せに暮らし、自然環境や伝統文化などの地域資源と先人たちの思いを次の世代へしっかりと引き継いでいくことを目標に、「結」をテーマに事業を実施しています。後世に継承していくため

には、こどもの頃から地域のことを知ってもらうことが大切だと思うので、地域の宝である、こどもたちを対象にした事業にも力を入れていきます。自然環境や伝統文化を体感することで、地域に愛着を持ち、ふるさとを大切に思うこどもも育ってほしいと考えています。

現在は、来年4月からの第4次計画の策定を進めています。住民の声を聞きながら、さらに笑顔と活気ある地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。



米川地区集落支援員
及川 浩友さん



石越地区集落支援員
金 浩稔さん

石越地区では、地域の行事に参加する若者が減少していることが課題となっていたので、今後の地域づくりの担い手である若者の育成と交流を目的に「若者井戸端会議」を始めました。

この会議は、若者に本音で話せる場を提供し、地域づくりに若者の声を生かしたいと考え、20から40歳代の若者で構成し、現在13人で活動しています。

1年目は、石越地区の魅力や課題などについて話し合い、その報告書を地区内全戸に配布しました。2

年目は、「いしこし光のペーレント」の電飾装置とチラシの作成、フォトスポットの設置や点灯式の企画・運営などに参加し、例年以上に石越の冬の風物詩を盛り上げてくれました。

3年目の今年は、石越地区市民体育祭への協力など、2年目以上に地域づくり事業に積極的に関わりながら、新たな事業の企画も検討しています。

これからは若者の自由な発想で、にぎわいと交流が生まれる事業を一緒に企画していきたいと思っています。

若者たち自ら

にぎわい創出